

『物流危機』に向けて 鉄道という選択肢を

2023年の割増賃金率の引き上げ、2024年のトラックドライバーの新たな労働時間規制の開始、物流を取り巻く環境は大きく変わります。

今のうちに鉄道コンテナ輸送という選択肢を考えてみませんか？

2023年から全企業60時間を超える時間外労働の割増賃金率が引き上げられます

長距離運転（長時間運転）の輸送コストが増加します

60時間超の残業割増賃金率が
大企業、中小企業ともに50%になります。

～2024年3月

60時間	以下	以上
大企業	25%	50%
中小企業	25%	25%

2024年4月～

以下	以上
25%	50%
25%	50%

☆ポイント

- 拘束時間が長い物流事業者は大幅なコストアップとなります。特に長時間運転が必要な長距離運行はコストアップとなります。
- 60時間を超える残業が深夜の場合、深夜割増25%+時間外割増50%=75%です。夜間に行う運行は日中運行と比較して大幅コスト増になります。

2024年からトラックドライバーの時間外労働の上限規制が始まります

中長距離でこれまでの運び方が難しくなります

「働き方改革関連法」の改正によりドライバーの拘束時間が大幅に短くなります。

年間拘束時間

現在 3,516時間

2024年4月～ 3,300時間

月約2日
運行減

年間拘束時間

時間外労働時間の上限が

年間
960時間

までになります。

☆ポイント

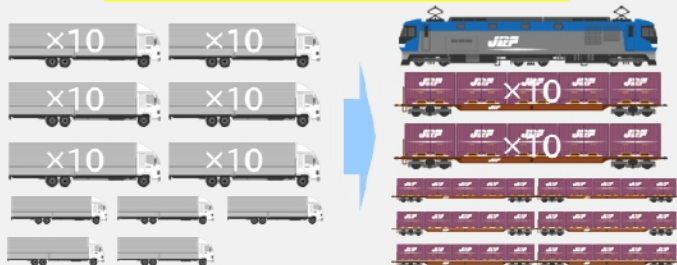
- トラック輸送は、500km前後からの「スイッチ輸送」や「ツーマン運行」などの『輸送の見直し』とドライバーの勤務時間減少に伴う『輸送力の低下』が予想されています。
- 『輸送の見直し』による「リードタイム延長」・「運賃上昇」や「輸送力の低下」による【運べない危機】が懸念されています。

違反した事業者は「6か月以下の懲役」または「30万円以下の罰金」

鉄道は物流危機に対応した『持続可能な輸送モード』

効率的な大量輸送でドライバー不足にも対応

貨物列車は最大でトラックの65倍の輸送力



☆ポイント

- 貨物列車1編成で一度に大量輸送できるメリットがあります。少ないドライバーで効率的に荷物を運ぶことで2024年以降の輸送力の低下に対応できます。

長距離幹線輸送区間を鉄道が担うことで労働時間を削減

トラックドライバーの運転時間を大幅削減



☆ポイント

- 鉄道コンテナ輸送は、長距離輸送区間を鉄道が担うことでドライバーの運行時間（時間外労働）を削減できます。
- 2024年以降も「スイッチ輸送」や「ツーマン運行」の必要なく、長距離輸送が可能です。

鉄道コンテナ輸送はトラックと“同じように簡単に”ご利用いただけます！！

■ 配送範囲は？

全国約140か所の貨物駅ネットワークを利用して北海道から沖縄まで“日本全国の輸送に対応”しています。

■ 利用方法は？

当社が鉄道から集配トラックまで一貫して手配致します。トラックと同じように“FAX・メールひとつでご依頼”できます。

■ 見積・資料が必要なときは・・・

集荷先から配達先までのトータル運賃の見積を“最短即日ご返答”致します。見積と資料の請求は下記のお問い合わせ先までご連絡ください。



丸和通運所有 クールコンテナのご紹介

当社は鉄道用リーファーコンテナ【クールコンテナ】を自社所有しています（汎用サイズ所有数No.1）。温度管理が必要なお荷物の輸送もお任せください。

形式	UF16A(101台)
扉位置	L字2方扉
温度設定範囲	-25℃～+20℃
内寸寸法(mm)高さ×幅×長さ	2,168×2,302×3,113
床面積 (㎡)	7.16
内容積 (㎡)	14.72
荷重(kg)	4,100



株式会社丸和通運
〒116-0003
東京都荒川区南千住3-5-20

H 連絡先 : 03-3806-0271
P : <http://maruwa-tsuun.co.jp>
メールアドレス : h-maruwatsu@momotaro.co.jp

ホームページ
QRコード

